

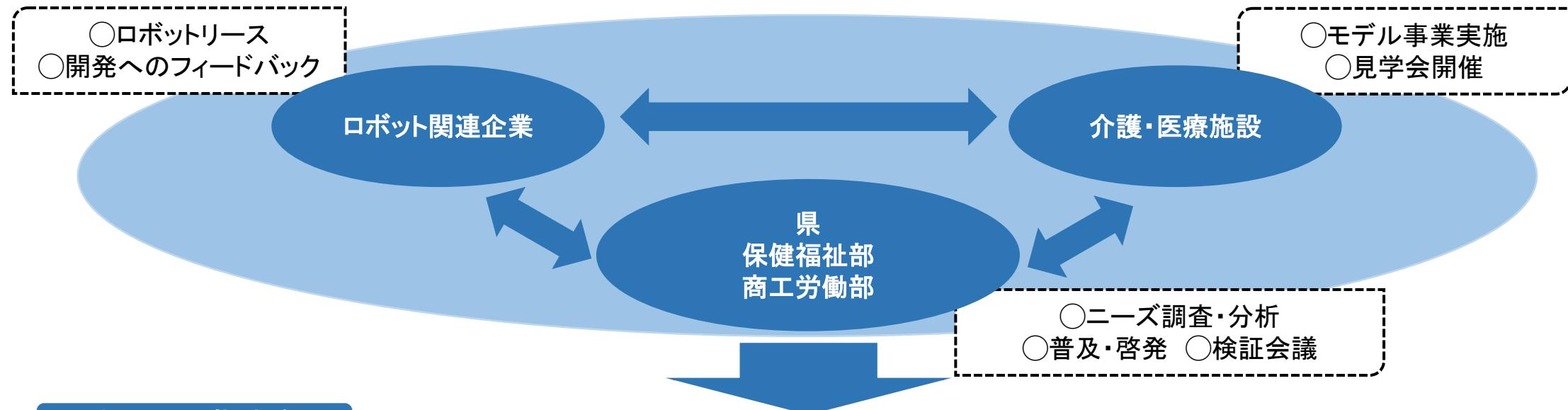
## 背景

- 高齢化の進展とともに、介護施設のニーズは増加しているが、介護職員は不足  
→ 介護職員の腰痛防止対策など、働きやすい職場環境・離職防止の対策が必要
- 加齢で脚力が低下した方や下肢の不自由な方などのリハビリは増加しているが、医療従事者は不足  
→ リハビリ効果を高めるとともに、魅力的な職場づくりを通じた医療従事者の確保が必要



## 事業概要

- 介護現場において、移乗介護支援ロボット等を先進的に導入するモデル事業を実施、介護職員の作業軽減効果等を検証
- 医療現場において、最先端の動作支援ロボットを導入するモデルを実施し、リハビリ治療への有用性を検証



## 本県の目指す姿

- 介護職員の作業軽減、リハビリ効果の向上や魅力的な医療現場の創出により、労働環境及び医療環境が改善され、職員の離職防止・定着化
- 開発企業の検証事業への協力と、検証結果の開発へのフィードバックにより、県内のロボット産業の活性化